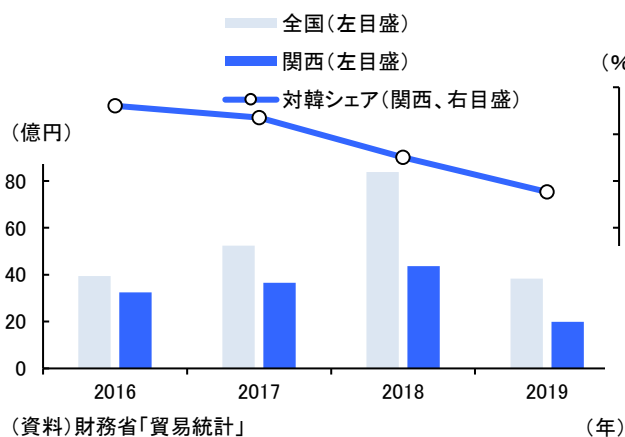


《関西経済シリーズ No.4》

対韓輸出運用管理見直しが関西経済に及ぼす影響

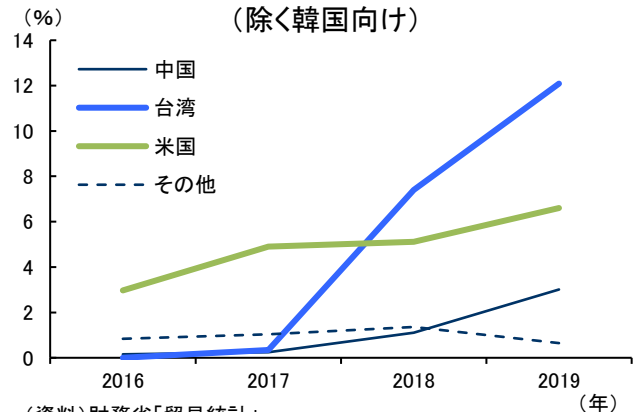
- (1) 7月1日、日本政府は韓国向け輸出管理の運用を見直し、4日から半導体製造関連の化学製品3品目の輸出管理を従来より厳格化。さらに韓国を包括輸出許可制度の対象（いわゆるホワイト国）から外し、個別に輸出許可申請を求め輸出審査をするよう、政令改正の手続きを開始。わが国輸出企業にとっては従来より手続きが煩雑化することに。
- (2) 3品目は日本が世界で高いシェアを持ち、韓国の主要産業である半導体製造業において高い対日依存度。3品目のなかで、フッ化水素は関西企業への影響が相対的に大。（独）石油天然ガス・金属鉱物資源機構「鉱物マテリアルフロー2018」によれば、輸出されるフッ化水素の用途はほとんどが半導体製造用の高純度品。関西からの輸出が過半を占めており、2019年1～5月累計では52%（図表1）。
- (3) もっとも、関西の総輸出額17兆円（2018年）のうちフッ化水素等の無機化合物は2,157億円と、金額面でのシェアは小。その輸出先は、近年、台湾、中国向けのシェアが拡大しており、半導体の生産拠点が分散化（図表2）。さらに、次世代通信への対応などから半導体需要は世界的に拡大していく見通し。そのため今回の措置が関西経済全体に与える影響としては、一時的に先行きの輸出の停滞がみられるとしても、大きなマイナス影響をもたらす公算は小。
- (4) 先行き、日韓の緊張関係が長引くことになれば、韓国経済の減速による半導体産業の設備投資減少や、訪日韓国人がさらに落ち込む可能性。この場合には関西経済へのマイナス影響が強まるリスク（図表3、4）。

（図表1）フッ化水素の輸出額と韓国向けシェア



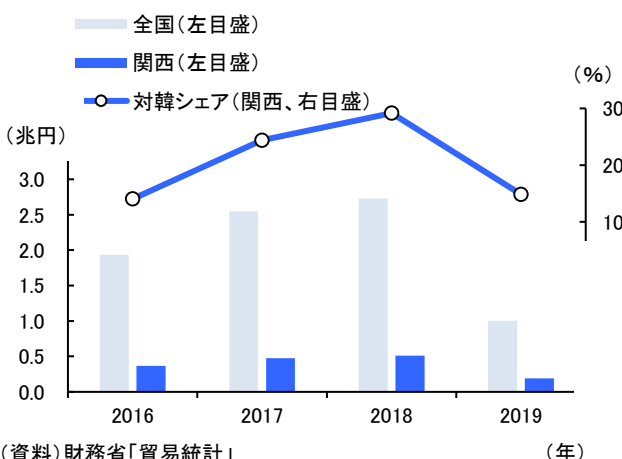
（資料）財務省「貿易統計」
（注）2019年は1～5月累計。

（図表2）関西のフッ化水素輸出額の国別シェア（除く韓国向け）



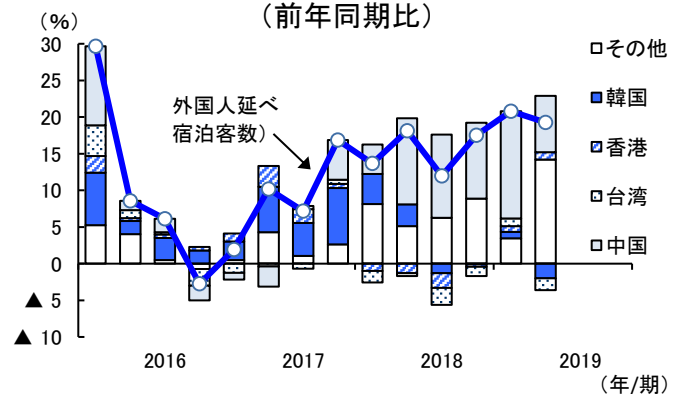
（資料）財務省「貿易統計」
（注）2019年は1～5月累計。

（図表3）半導体等製造装置の輸出額と韓国向けシェア



（資料）財務省「貿易統計」
（注）2019年は1～5月の累計。

（図表4）関西における外国人延べ宿泊客数（前年同期比）



（資料）観光庁「宿泊旅行統計調査」
（注）外国人宿泊客は従業者数10人以上の施設利用者。2019年4～6月期は4月の値。

【ご照会先】 調査部 副主任研究員 西浦瑞穂 (nishiura.mizuho@jri.co.jp, 06-6479-6086)